

宮城黎子記念・JTA テニスミュージアム基金 創設の趣旨と募金協力のお願い

日本にテニスが伝来してから約130年、テニスは世代から世代に受け継がれ、すっかり定着しました。時代の足跡を残すテニス文化史資料も、機会あるごとに公開・展示されています。

1988年、ジャパンオープン大会開催中の有明コロシアムで開催された「輝ける日本のテニス史展」は、その後も内容を更新しながら日本テニス協会70周年および80周年祝賀会、そしてジャパンオープン大会会場、デ杯会場などで展示を継続し、多くの方々にご覧いただいて参りました。

その間、1991年には日本テニス協会70周年記念事業の一環として「テニス博物館（仮称）素案」が作成されています。

初代委員長・宮城黎子さんの熱意により、テニス資料館（ミュージアム）設立を目指して、2002年に発足した日本テニス協会テニスミュージアム委員会では、協会所蔵の史資料の整理・保存・デジタル化・データベース化・活用、ミュージアムグッズの制作・販売・広報活動、および国内外の史資料所在情報の収集に取り組んで参りました。またジャパンオープン会場でのテニス史展示を継続すると同時に、JTA公式ホームページ内《ウェブ・テニスミュージアム》の拡充を目指しています。

一方、有明テニス・マネージメントチーム（日本テニス事業協会・東京港埠頭株式会社）との提携により有明クラブハウス1階に展示コーナーを開設するとともに、日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟会員の方々との相互協力など活動の範囲を広げています。

こうして多方面の理解を得ることができるようになり、今ではテニス関係者ばかりではなく一般テニス愛好者からもラケットや古い写真などの資料提供をいただくことが多くなりました。しかしながら、貴重な史資料の破損・散逸も進んでおりますので、早急に資料保管・閲覧室を設置して保全に努めなければなりません。

このたび創設しました「宮城黎子記念・JTAテニスミュージアム基金」は、少しでも早く「JTAテニスミュージアム（仮称）」を設立するための大きな一歩です。

日本中のテニス愛好家の皆さまの温かいご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

2009年4月吉日（2012年5月吉日改正）

公益財団法人日本テニス協会 会長 畔柳信雄

賛 同 者：宮城淳、緒方貞子、吉田和子、クルム伊達公子、松岡修造ほか

運営担当：テニスミュージアム委員会（委員長 小田晶子）

宮城黎子記念・JTA テニスミュージアム基金の目的及び募金要綱

- 目的
1. 基金の最終目標を「JTA テニスミュージアム（仮称）設立」とする。
 2. 中期5ヵ年計画として、以下の目的を達成する。
(1) 資料保管・閲覧室の設置、(2) 史資料の収集と整備（国内外への調査・情報収集・搬入）、(3) 史資料の電子化とデータベース化、(4) 学芸員の確保
 3. 中期5ヵ年計画の目的を達成するための基金目標額を2,000万円とする。

- 募金方法
1. 募金活動の主体は（公財）日本テニス協会（略称 JTA）とし、募金名称を「テニスミュージアムに係る寄附」とする。（従来の「宮城黎子記念・JTAテニスミュージアム基金」に積み立てる。）

2. 送 金 先：

振込先口座名：公益財団法人日本テニス協会 寄附金
金融機関：ゆうちょ銀行 口座番号：00130-0-504638
振込先口座名：公益財団法人日本テニス協会 テニスミュージアム寄附金
金融機関：三菱東京UFJ銀行 支店名：渋谷中央支店 口座番号：(普通) 0272922

※2012年度より寄附額は、一回につき5,000円以上となりました。※「テニスミュージアムに係る寄附申込書」にご記入の上、FAXまたは郵送ください。

- 会計報告他
1. 会計報告および活動報告は、（公財）日本テニス協会の発行する《JTAニュース》および JTA 公式ホームページ内《ウェブ・テニスミュージアム》で行う。
 2. ミュージアム・サポーターの皆様にはニューズレターを発送し、報告を行う。
 3. 寄附金に対する優遇措置：個人および法人は、税制上の優遇措置（特別控除）を受けられる。（詳しくは、JTA ホームページ〈<http://www.jta-tennis.or.jp/donation/>〉をご覧くださいか、JTA 募金担当にお問い合わせください）
 4. 個人情報（公財）日本テニス協会が管理し、基金活動以外の目的で使用しない。